



市議会だより

にほんまつ

第20号

9月定例会号

平成22年11月1日発行
発行：二本松市議会
福島県二本松市金色403-1
Tel 0243-55-5143/Fax 0243-22-6047

改選後の新議員による委員会構成が決まりました。

◎委員長 ○副委員長



市民産業常任委員会

菅野寿雄 小林 均 深谷勇吉
新野 洋 ○佐藤公伯 ◎菅野 明 佐藤源市



総務常任委員会

斎藤賢一 野地久夫 熊田義春
中田凉介 ○堀籠新一 ◎高橋正弘 鈴木利英



文教福祉常任委員会

浅川吉寿 平 敏子 安斎政保
○五十嵐勝蔵 ◎本多勝実 市川清純



建設水道常任委員会

平塚與志一 安部匡俊 斎藤広二
○佐藤 有 ◎斎藤周一 平栗征雄

平成21年度 一般会計・特別会計・企業会計 決算の認定
アスベスト除去、被災箇所復旧等12億3千万円の補正予算を可決

定例会概要
臨時会概要

2

決算審査特別委員会を設置 平成21年度決算を審査

特別委員会報告

4

行政課題の
解決に向けて

各常任委員会審査報告 ほか

常任委員会報告

6

市の明日を考える

一般質問に16人が登壇 高齢者福祉について等 ほか

一般質問

8

請願・意見書・議会豆知識・議会の動き・編集後記

お知らせ

13

アスベスト除去、被災箇所復旧等 12億3千万円の補正予算を可決

二本松市議会9月定例会は、9月7日から9月29日までの23日間を会期として開催されました。

今回提出されました議案は、平成21年度一般会計、特別会計、企業会計の決算認定や平成22年度一般会計補正予算、市条例制定など市長提出議案32件、請願6件、議員提出議案7件でした。

二本松市としては初めての決算審査特別委員会を設置し、4日間にわたり審査を行いました。

これらを慎重に審議した結果、平成21年度一般会計他6件の決算認定については反対討論があり、採決の結果賛成多数で認定されました。この7件を除く決算認定15件及び平成22年度一般会計補正予算など全議案が原案のとおり可決されました。

なお、請願6件が審査され、5件が採択、1件が趣旨採択となりました。

条 例

◎「二本松市スカイピアあだたら条例の一部を改正する条例」

スカイピアあだたら条例の一部改正については、スカイピアあだたらを年間通して利用できるようにするため、利用期間を改め、定期休館日を廃止しようとするもの。

二本松市過疎地域自立促進計画

過疎地域自立促進計画については、過疎地域自立促進特別措置法の規定により、合併前の旧岩代町及び旧東和町の区域が過疎地域とみなされることから、平成27年度までの時限法である同法に基づく財政上の特別措置について、今年度から適用を受けるため、県との協議を踏まえ、同法の規定に基づき市の計画を定めようとするもの。

補正予算

◎「二本松市一般会計補正予算」

教育施設のアスベスト除去、大雨による被災箇所の復旧、市独自の緊急雇用対策ならびに道路・公園整備等の追加財政需要に要する費用を主として措置するためのもので、現計予算の総額に歳入歳出それぞれ1,235,850千円を追加し、予算総額を25,625,128千円としたもの。

(歳出の主なもの)

○総務費

- ・財政調整基金積立金の増額 350,000千円
- ・高速バスストップ整備事業 18,810千円

○民生費

- ・延長保育促進事業費の増額 5,460千円

○農林水産業費

- ・森林環境交付金事業費の増額 1,011千円
- ・林道整備事業費の増額 14,000千円

○商工費

- ・日本一の桜の郷二本松推進事業費の増額 450千円

○土木費

- ・除雪対策費の増額 7,360千円
- ・街路事業費の増額 17,468千円
- ・公園管理費の増額 22,213千円
- ・二本松駅前周辺整備事業に係る安達地方土地開発公社への繰上償還支払金の増額 190,526千円

○教育費

- ・学校施設整備事業に係る安達地方土地開発公社の繰上償還支払金の増額 390,140千円
- ・小浜中・東和中屋内運動場アスベスト除去事業 42,100千円
- ・東和給食センターアスベスト除去事業 28,000千円

○災害復旧費

- ・農業用施設単独災害復旧事業費の増額 11,000千円
- ・公共土木施設現年災害復旧事業 27,000千円

○緊急雇用対策の増額

8,141千円

(歳入の主なもの)

○普通交付税の増額

456,076千円

○前年度繰越金の増額

605,665千円

◎「二本松市国民健康保険特別会計補正予算」

国保連合会の審査支払システム更新に係る保険者負担金、療養給付費等国庫負担金の超過交付分返還金等について補正するもの。

◎「二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算」

前年度繰越金の確定による広域連合納付金等の精算措置。

◎「二本松市介護保険特別会計補正予算」

保険事業勘定及び介護サービス事業勘定とも前年度繰越金が確定したことによる補正措置。

◎「二本松市公設地方卸売市場特別会計補正予算」

前年度繰越金の確定による補正で増額分を予備費に留保するもの。

◎「二本松市岩代簡易水道事業特別会計補正予算」

◎「二本松市東和簡易水道事業特別会計補正予算」

◎「二本松市岩代下水道事業特別会計補正予算」

平成21年度決算額の確定による消費税等の納付金額の増及び施設の修繕等を措置するもの。

そ の 他

◎「人権擁護委員候補者の推薦」

人権擁護委員 武藤寛郎氏(郭内)と渡邊泰子さん(矢ノ戸)が平成22年12月31日をもって、任期満了になることに伴い、渡邊一郎氏(本町)新任、渡邊泰子さん(矢ノ戸)再任を適任者と認め推薦しました。

◎「閉会中の委員会所管事務継続調査」

市民産業常任委員会は、農産物のブランド化と6次産業について、観光交流人口の増加対策についての2件を調査するため、平成24年6月30日までの期間、継続調査することを決議しました。

○9月定例会に市長から提案された議案と審議結果

議案番号	件名	会議結果
第75号	平成21年度 二本松市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第76号	平成21年度 二本松市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第77号	平成21年度 二本松市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第78号	平成21年度 二本松市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第79号	平成21年度 二本松市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第80号	平成21年度 二本松市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第81号	平成21年度 二本松市公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第82号	平成21年度 二本松市工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第83号	平成21年度 二本松市佐勢ノ宮住宅団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第84号	平成21年度 二本松市安達簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第85号	平成21年度 二本松市岩代簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第86号	平成21年度 二本松市東和簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第87号	平成21年度 二本松市安達下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第88号	平成21年度 二本松市岩代下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第89号	平成21年度 二本松市茂原財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第90号	平成21年度 二本松市田沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第91号	平成21年度 二本松市石平財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第92号	平成21年度 二本松市針道財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第93号	平成21年度 二本松市工業団地造成事業会計決算の認定について	原案認定
第94号	平成21年度 二本松市宅地造成事業会計決算の認定について	原案認定
第95号	平成21年度 二本松市水道事業会計決算の認定について	原案認定
第96号	平成21年度 二本松市下水道事業会計決算の認定について	原案認定
第97号	二本松市スカイピアあだたら条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第98号	二本松市過疎地域自立促進計画について	原案可決
第99号	平成22年度 二本松市一般会計補正予算	原案可決
第100号	平成22年度 二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第101号	平成22年度 二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算	原案可決
第102号	平成22年度 二本松市介護保険特別会計補正予算	原案可決
第103号	平成22年度 二本松市公設地方卸売市場特別会計補正予算	原案可決
第104号	平成22年度 二本松市岩代簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決
第105号	平成22年度 二本松市東和簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決
第106号	平成22年度 二本松市岩代下水道事業特別会計補正予算	原案可決

平成22年 第6回(8月)臨時会

8月臨時会が8月20日に開催されました。提出された議案は、工事請負契約締結について、補正予算など3件で、審議の結果、全議案原案のとおり可決されました。

◎工事請負契約締結について

東和地域情報通信基盤整備工事(光ファイバーケーブルの敷設)を行うもの。

◎平成22年度 二本松市一般会計補正予算

民間保育所の増改築等の事業計画が確定したことに伴う補助金の増額58万円。

7月の豪雨による災害被災箇所の復旧経費として農林水産施設災害復旧費800万円、土木施設災害復旧費3,300万円を増額補正措置するもの。

◎平成22年度水道事業会計補正予算

民有地の土地利用変更に伴い、配水管布設替工事に要する経費1,000万円を増額補正措置するもの。

平成21年度 各会計決算を認定

平成21年度の一般会計、特別会計及び企業会計決算は、第7回市議会9月定例会に上程され、9月13日に議長及び議会選出の監査委員を除く24人の委員をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、安部匡俊委員長、小林均副委員長のもと、21日、22日、24日及び27日の4日間にわたって決算審査を行いました。

地方の財政環境が一段と厳しさを増す状況の中、委員会の審査では、21年度の行財政運営の実績や各施策の効果などについて活発な議論を交わし、全会計の決算を認定しました。

決算審査の概要

一般会計

歳入

問 不納欠損額(29,875千円)の税目ごとの件数は。

答 市民税836件、固定資産税1,346件、軽自動車税218件である。

歳出

議会費

問 決算に占める議会費の割合は。

答 平成16年度1.33%、平成17年度1.27%、平成18年度1.26%、平成19年度1.06%、平成20年度1.04%、平成21年度0.92%である。

総務費

問 地域振興整備基金の取り崩しの内訳は。

答 霞ヶ城公園トイレ改築工事に27,880千円、さくらの郷トイレ改修工事に9,737千円、歴史まちづくり整備事業に7,444千円等である。

問 集会施設敷地民有地借上補助金の対象は。

答 集会施設の敷地を民間から借り上げている111の行政区等(二本松30、安達15、岩代24、東和42)である。

民生費

問 出産祝金の支給対象者の内訳は。

答 第1子目となる出生児164人、第2子目157人、第3子目98人である。

問 おもいやり駐車場設置状況は。

答 市内の48公共施設で73台分、18民間施設で37台分である。

衛生費

問 河川等の水質検査結果をどう役立てているのか。

答 基準値を上回る結果となった場合は、行政区にお知らせする。また、広報紙やホームページに掲載している。

農林水産業費

問 土地改良事業等に係る債務負担行為の平成21年度末現在高は。

答 二本松地域456,366千円、安達地域2,322,461千円、岩代地域47,975千円、東地域592,020千円。

商工費

問 岳温泉への観光入込客数は。

答 宿泊者が316千人、日帰り客が57千人。

土木費

問 歴史まちづくり整備事業に係る基本構想策定について。

答 現在、国や地元と協議中であり、最終的な方向性が出てから示したい。

消防費

問 消防設備を更新する際の根拠は。

答 消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプは、配備後約20年で更新。

教育費

問 英語指導外国青年招致事業と外国語活動講師派遣事業について。

答 中学校生徒の英語指導助手として3名を雇用。また、小学校5・6年生を対象に外国人講師2名を派遣している。

問 二本松地域の給食経費に賄材料費や給食費負担金が計上されていない理由は。

答 二本松地域は自校方式のため、私会計となっており、一般会計には計上されない。

災害復旧費

問 公共土木施設災害復旧事業となる要件は。

答 1カ所の工事費が60万円以上、時間雨量20mm以上、日雨量80mm以上が該当。県が災害として動くものが該当。

特別会計

介護保険

問 配食サービスの委託先と実績は。

答 社会福祉協議会に委託し、平成21年度では16,040食分を宅配した。

土地取得

問 公共用地の先行取得について。

答 所有者からの売却の申し出により取得。今後は、整備計画策定について検討する。

佐勢ノ宮住宅団地造成事業

問 分譲区画の残数と売却努力について。

答 残り18区画。チラシ配布や月刊誌への広告掲載を行った。

安達簡易水道事業

問 計画区域と計画人口は。

答 山ノ入、米沢、吉倉の区域。計画人口は932人。

岩代簡易水道事業

問 給水件数が前年度と比較して8件減少し、853件となった要因は。

答 社会的減が主な要因である。

東和簡易水道事業

問 公債費の繰上償還について。

答 平成19年度に許可を得たもの。年利5%以上の残債(92,800千円)を低利資金への借り換えを行うことにより将来負担の軽減を図った。

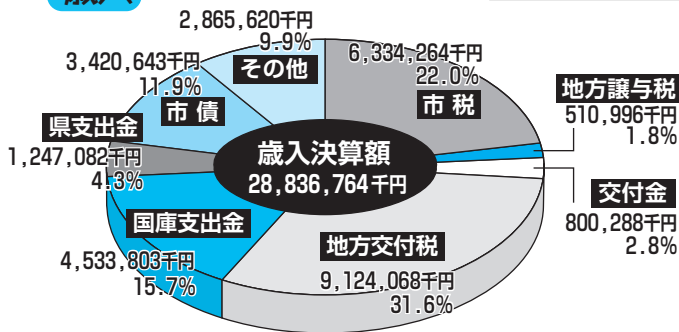
企業会計

水道事業

問 未収金について

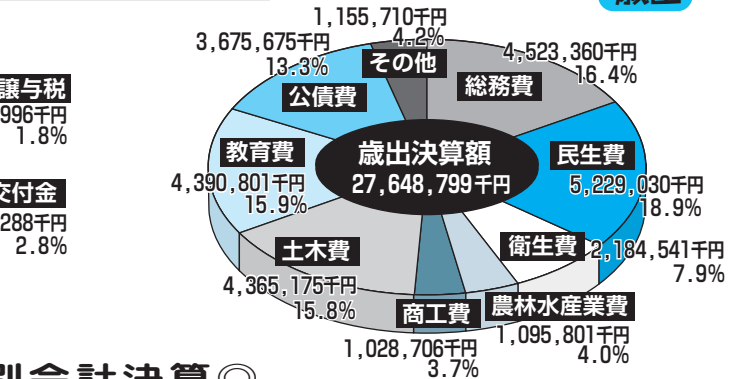
答 営業未収金101,161千円、営業外未収金23,464千円、その他の未収金60,277千円。

歳入



◎ 一般会計決算 ◎

歳出



◎ 特別会計決算 ◎

区分	国民健康保険		老人保健	後期高齢者医療	介護保険		土地取得	公設地方卸売市場	工業団地造成事業
	事業勘定	直診勘定			保険事業勘定	介護サービス事業勘定			
歳入	6,071,165	138,947	12,346	491,357	4,103,773	21,938	10,698	8,699	72,076
歳出	5,907,292	137,539	10,979	490,540	4,036,235	18,271	10,698	5,868	62,076
翌年度へ繰り越すべき財源	1,733	0	0	0	0	0	0	0	0
実質収支額	162,140	1,408	1,367	817	67,538	3,667	0	2,831	10,000

区分	佐勢ノ宮住宅団地造成事業	安達簡易水道事業	岩代簡易水道事業	東和簡易水道事業	安達下水道事業	岩代下水道事業	茂原財産区	田沢財産区	石平財産区	針道財産区
歳入	44,057	26,084	119,604	389,212	279,739	149,431	1,324	343	3,568	141
歳出	44,057	26,080	119,584	389,180	279,739	149,417	1,130	166	3,462	88
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実質収支額	0	4	20	32	0	14	194	177	106	53

◎ 企業会計決算 ◎

区分		工業団地造成事業	宅地造成事業	水道事業	下水道事業
収益的	収入	124,651	0	964,634	612,526
	支出	106,482	-	854,437	608,701
資本的	収入	-	-	184,838	308,167
	支出	125,000	-	491,163	479,893

常任委員会の審査報告

総務常任委員会

二本松市過疎地域自立促進計画について

問 人口の推移を見ると岩代地域及び東和地域における人口の減少が顕著であるが、どのように捉えているのか。

答 二本松市過疎地域自立促進計画に基づき、居住環境を整えるための社会資本の整備、産業基盤の整備、生活環境の整備等ハード部門及びソフト部門の双方で過疎対策に取り組み、総合的かつ計画的な対策を実施し、地域の自立促進を図るとともに、住みやすい環境を整備し人口増加対策に寄与したい。

問 二本松市過疎地域自立促進計画の個々の事業内容について、二本松市長期総合計画に記載のない事業も含まれているがその整合をどのように図るのか。

答 当該過疎計画については、今後6年間に想定される事業を組み込んだところであり、長期総合計画に基づく財政計画との調整を図りながら各種事業を実施していく。



机上審査の様子

市民産業常任委員会

平成22年度二本松市一般会計補正予算について

問 生活習慣病予防事業について、女性特有のがん検診の目標受診率を結果的に下回ることとなったが、検診期間中に受診率を上げるための対策はとれなかったのか。

答 受診率を上げるための対策については、一般的には期限終了前の駆け込み受診が多く、その予測が困難だったこと、さらに一部の受診結果が市へ到達するのに日数がかかるため、対策を講じられなかったが、今年度は早めに準備したい。

問 林道整備事業について、米石羽山線の舗装工事について、なぜ当初予算でなく補正予算により行うのか。

答 米石羽山線については、次年度に舗装を予定していたが、急傾斜部分が豪雨のたびに浸食されてしまうため、その部分を緊急的に舗装することとした。



農業用施設災害復旧 堰補修（若林）上太田地区の説明を受ける様子

9月13日に付託された各議案は、9月16日～17日にかけて、各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日29日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。

各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

建設水道常任委員会

平成22年度二本松市一般会計補正予算について

問 霞ヶ城公園における桜植栽敷地整備工事については、日本さくらの会から寄贈される桜の苗木200本を植栽するためとのことであるが、除草などの軽微な作業を緊急雇用創出基金事業により雇用している臨時職員で行うことはできないのか。また、桜の植栽、雑木の伐採、抜根及び産業廃棄物としての処理にかかる経費が大きく、全ての雑木を伐採する必要もないように思われるが、経費を節減する方法はないか。

答 緊急雇用創出基金の公園環境保全事業により雇用している臨時職員については、公園の維持管理に関することに従事することは何ら問題ないため、除草作業はそれらの臨時職員で対応したい。また、雑木の伐採及び抜根については、桜の植栽に支障のある必要最小限の雑木のみを対象とし、伐採したものもその場に置き肥料と

して活用するなど、最大限、可能な限りコスト縮減に努める。



安達ヶ原ふるさと村公園施設補修工事等の説明を受ける様子

文教福祉常任委員会

平成22年度二本松市一般会計補正予算について

問 小浜中と東和中の体育館、東和給食センターのアスベスト除去工事について、以前調査したときに、アスベストを発見できなかったのか。

答 以前の調査では、設計図や目視で確認したが、露出していない部分については、発見できない箇所もあった。

問 小浜中と東和中の体育館は、耐震補強工事が行われており、アスベスト除去工事が追加されて工期が長くなるが、学校行事の運営に支障が出ないのか。

答 できるだけ工期短縮に努め、学校行事等の運営、特に卒業式には支障が出ないように配慮していきたい。体育の授業等には岩代第二体育館と東和小の体育館を、文化祭には岩代総合文化

ホールと東和文化センターを使用してもらう予定である。



東和中体育館アスベスト除去工事の説明を受ける様子

一般質問

市の明日を考える!

9月定例会の一般質問は、9月13日から16日の4日間にわたり16人の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を掲載します。

[発言順]

熊田 義春

[市政会]



- 高齢者福祉について
- 浄化槽設置設備事業について

問

- ① 高齢者介護保険料について



(敬老会の様子)

- ② 浄化槽補助金について

答

- ① 所得段階別に決定し、負担能力対応で7段階に分けてあり、基準額は、月額3,650円、年額43,800円。平成22年度は月額50円減額されています。
- ② 建物の面積等の基準で設定され、合併処理浄化槽補助金は5人槽332,000円、7人槽414,000円、10人槽548,000円となっているが、県が補助を取りやめたことにより、新築は半額。今後は年間150基設置を見込んでおり、制度の周知に努めてまいります。

安斎 政保

[市政会]



- 子宮頸がん予防接種について
- 市道赤坂山・田尻線道路整備について

問

- ① ①接種対象者について
②安全性について
③保健指導について

- ② ①年次計画について
②歩道設置について



(市道赤坂山・田尻線)

答

- ① ①望ましいとされている11歳から13歳相当の女子の数は、各学年280名から290名です。
- ② 副反応として注射部位の局所的反応や胃腸病状、発熱などの報告があります。
- ③ 学校保健と地域保健の連携が重要とされています。
- ② ①継続事業で進めることで実施計画を作成しており、完成には、もうしばらくかかります。
- ② 側溝蓋掛部を含む拡幅路肩で歩行者の安全は図られます。

深谷 勇吉

[真誠会]



- 県道安達太良山線の市の対応について
- 市道郭内・塩沢町線の歩道設置について

問

- ① 市では、安達太良山線の全面拡幅について、県に対し、これまでどのような対応をしてきたのか。また、今後どのような対応をしていくのか伺う。
- ② 車と人を分離するための歩車道ブロック等が必要かと考えるが、市の対応について伺う。

答

- ① 国道459号へ向けての休石原地内約660mについて、県と市が直接事業調整会議を行い、県が回答を示し、市長自ら県土木部長、県議会にも要望している。今後は、継続的に強く要望し、道路整備に着手するよう要請していく。
- ② 本路線は通学路として指定されている路線なので、早い時期に調査検討をする。道路幅員が狭いため、歩車道を設けると用地買収、家屋移転が必要な箇所もあり、歩道の形態を含めて検討する。

高橋 正弘

[あぶくま会]



- 障がい者福祉について
- 社会体育の振興について

問

- ① 知的障がい者施設の入所施設建設に支援できるのか。
- ② ソフトテニス、テニスとも競技者、愛好者が増大している。老朽化して大会運営に支障のある城山庭球場の改修計画はあるのか。

答

- ① 国の財政支援については、国庫補助負担金の改革で廃止されたが、独立行政法人福祉医療機構の福祉貸し付け事業が充実しており80%まで融資される。市でも社会福祉法人に対する助成の手続きに関する条例があり、必要性が認められる場合検討する。
- ② 城山庭球場は、設置して30年が経過し、老朽化が進んでいることから、長期総合計画上に必要な改修を位置付けたい。

本多 勝実

[市政刷新会議「創松未来」]



- 熱中症対策について
- 二本松市「スカイピアあだたら」について

問

- ① ①小中学校における冷水器の設置及び冷房設備の整備について
②高齢者に対する熱中症対策について
- ② ①利用者7万2千人、利用料収入2千万円は、いつの時点で誰が設定した基準だったのか。年間を通して利用できるように改正することとした判断根拠は何か。
②大規模修繕と施設運営について

答

- ① ①教室へのエアコン設置について、多額の費用を要することから財政と照らし合わせ検討していく。
②長寿学級や地域のサロン事業に、36回程度保健師が出向き、熱中症予防について指導を行った。
- ② ①市民の憩いの場、健康増進の場として利用拡大が図られるため、定期休館日を廃止し年間を通じ健康増進施設として提供する。
②現状の状態での運営に努め、その後は大規模改修が必要になった時点で検討する。

佐藤 公伯

[真誠会]



- コミュニティバス運行の見直しについて
- 水道未普及地域の解消について

問

- ① コミュニティバス運行の利用状況と運行に対する苦情や見直しは。
- ② ①上水道、簡易水道の普及率は。
②第6次拡張事業は、あと何年で完了するのか。
③第7次拡張事業計画の策定見直しは。
④老朽化した送水管の布設替による未普及地域の事業に対する影響度は。

答

- ① 安達地域1日平均15名、東和地域10名の乗車がある。乗り継ぎ、バス停の表示、ルート、ダイヤの変更などで、コース、運行時間などを改善点があれば見直す。
- ② ①計画地域内普及率は、上水道の合計で91.6%、安達簡水79.2%、岩代簡水62.6%、東和簡水79.1%。
②目標年次は、平成32年度まで完了を目指す。
③認可事業完了後に検討する。
④影響の出ないように計画を精査して取り組みたい。

小林 均

[公明党]



- 「地域主権改革」について
- 「新しい福祉」への取り組みについて

問

- ① ①「地域主権改革」についての見解は。
②補助金廃止と一括交付金化についての見解は。
③二元代表制の在り方についての見解は。
- ② ①大阪の2幼児放置死事件等、住民と行政との連携のあり方が問われている。子供の安全確保優先の対応について伺う。
②本市の高齢者所在確認業務の実態と、高齢者所在不明などの事実はあるのか。

答

- ① ①地域主権改革を進めるためには、地方への権限移譲と財源の十分な確保が不可欠であると考えている。
②客観的指標の採用と条件不利地域への十分な配慮が必要である。
③今後共継続されるべきと考える。
- ② ①通告があった場合、迅速な対応に努め、「こんには赤ちゃん事業」等で未然防止に努める。
②介護保険、後期高齢者医療制度の利用実績で確認の結果、所在不明の高齢者はゼロ。又、百歳以上の25人全員の所在を確認済。

菅野 寿雄

[市政会]



- 産地づくり交付金について
- 過疎地域自立促進計画(案)について

問

- ① ①戸別所得補償制度実施に伴い、作業受委託補助は廃止されるのか。
②廃止の場合、作業受委託の拡大をどの様に推進するのか。
- ② ①当局が自ら牽引役になることを役割に加えるべきではないか。
②今後6年間の事業期間の中で、情勢・環境変化に対応した見直し、追加等が必要ではないか。

答

- ① ①国の米政策転換に伴い、中山間地域(岩代・東和)には受託者委託者双方に交付されてきた補助金は廃止された。
②市としては、認定農業者や集落営農団体等担い手を育成してまいりたい。
- ② ①行政の当然の責務であると考えており、今後もリーダーシップを発揮してまいりたい。
②計画期間内にあっても、環境や情勢の変化により必要が生じた際は見直し・変更を行っていく。

平 敏 子

[日本共産党二本松市議団]



- 介護保険制度について
- 子育て支援策について

問

- ① ①合併後の状況について、被保険者数は何人増え、介護保険料普通徴収の収納率はどの様になっているか。給付費の増大で保険料が上がる仕組みや低所得者の法定減免制度の確立など、制度見直しが課題ですが当局の見解は。
②介護認定者の未利用の実態の把握は。
- ② ①学童保育などが利用する福祉センターの体育館の建替えは。
②ふるさと村の水遊びができる公園整備の検討とその後の経過は。

答

- ① ①平成21年度は15,984人、合併後423人の増で普通徴収は88.7%と年々低下が見られる。制度を持続させていくためには、財源のあり方で十分検討が必要。
②平成21年度は要介護・要支援認定者の20.3%が介護サービスを受けていない。今後、実態把握や原因分析を進めたい。
- ② ①耐震補強及び屋根・床の修繕を行い、施設を存続させる。
②施設等検討のために、今定例会に必要な経費を提案した。

堀 籠 新 一

[真 誠 会]



- 財政健全化について
- AED設置について

問

- ① ①一般会計、特別会計、企業会計全部の平成21年度末の市債残高と債務負担行為残高は。
②市民1人当たりの借金は。
③平成22年度末の市債残高と債務負担行為残高の見込み額は。実質公債費比率は。
- ② 幼稚園・保育所・コミュニティバスへのAED設置は。

答

- ① ①市債残高は合計で478億9,672万7,000円、債務負担行為残高は70億9,919万6,000円です。
②78万1,107円です。
③市債残高は、477億4,266万7,000円、債務負担行為残高は65億7,871万円の見込みで、実質公債費比率は、平成21年度末は19%、本年度末は17.5%になる見込みです。
- ② 幼稚園・保育所への設置は、整備に向けて取り組みます。コミュニティバスへの設置は今後検討します。

齋 藤 広 二

[日本共産党二本松市議団]



- 保育士の雇用について
- 安達駅周辺整備事業について

問

- ① ①保育士の臨時職員の実態と正職員の採用について
②臨時職員3年で雇い止めの実態と再雇用について
③待機児童解消のため、国が定員オーバーの規制緩和策をとったことについての見解は。
- ② 安達地区は今後人口増が見込まれることから、安達駅東西自由連絡通路は東西から乗り入れでき、ホームに降りられる機能にする考えは。

答

- ① ①現在98名、臨時が61%を占め、クラス担任も保育所7名、幼稚園12名。平成27年度までに22名退職する。子供の安全確保は何よりも大切であり、定員適正化計画により計画的採用を図る。
②今年から35名再雇用した。
③すし詰め保育となる。よりよい保育環境のため、今までの基準とする。
- ② 自動券売機、自動改札機によるホーム乗り入れが想定されるが、利用形態や費用の十分な考察が必要。

野地 久夫

[市政刷新会議「創松未来」]



- 安達駅周辺整備について
- 安達支所施設有効活用について

問

① 市長の安達駅周辺整備事業における東西通路駅機能の考え方及び事業認識と投資効果をどのように考えているか。



(安達駅東側)

② 安達支所2階の利用を広域議会において、広域組合での利用を提案したが調査検討はされたのか。

答

① 安達駅東西通路は必要であり駅機能については検討し進める。安達駅周辺整備事業は新市計画で推進するとしており、効率的な土地利用を図り良好な住環境の整備で市街地形成が図られ、重要な事業と認識する。インフラ整備により宅地化が進み定住人口の増加が期待でき、商業地区としての活性化も図られ、市全体としても経済的な波及効果は大きいと理解している。

② 広域行政組合で検討されており、利用可能とは考えるが検討を見守る。

佐藤 源市

[あぶくま会]



- 大雨による災害復旧について
- 消防団協力事業所認定制度制定について

問

① ①災害工事発注状況及び緊急時の対応について

②被災未整備箇所への資材支給は。

③災害避難勧告の基準について



(7月15日の豪雨により路肩崩壊した市道)

② ①協力事業所実態について

②緊急時の協力事業所実態は。

③認定制度制定の考えについて

答

① ①市道及び農林道施設131箇所中48箇所発注済。緊急時は建設協会へ資材及び作業員を要請する。

②地元の理解協力を得、資材を支給し早急な復旧を支援する。

③年度内に基準制度を計画する。

② ①県内1市3町が30事業所へ協力事業所表示証を交付している。

②災害時応援協定は5団体91事業所と締結している。

③年度内に関係機関と協議のうえ、制度を計画する。

菅野 明

[日本共産党二本松市議団]



- 東和地区コミュニティバスの運行について
- 福島地方法務局二本松出張所の廃止問題について

問

① ①4月から運行が始まり市民の要望を踏まえ一部見直されたが、その後も要望等が出ており改善すべきではと考えるが、乗り換えなしで二本松まで行けるようにすべきではないか。

②路線バスを下田や馬乗、落合まで延伸するなど見直すべきでは。

② 市民から「出張所の廃止計画」に心配や不安が出され、存続を求める声が出ている。市長先頭に関係機関への要望活動が取り組まれているが、現状と今後の見通しは。

答

① ①よりスムーズな乗り継ぎができるよう適時に時間設定等を見直し、市民が利用しやすいバスにしていく。

②コースとダイヤ等は一定の運行実績を踏まえ、利用者の意見も聞き、改善すべきものは改善していく。

② 「市民生活、地域経済に重大な影響を及ぼすので、断じて容認できない。ぜひ存続を」と強く求めた。22年度末の再編は1年延期となったが今後も存続を強く求めていく。

安部 匡俊

[あぶくま会]



- あだたら商工会に対する補助金について
- 小規模事業所や中小企業に対する支援について

問

- ① 平成22年度の予算では、運営補助金11,205千円が決定されています。23年度以降の運営補助金に対して、年平均約1,500千円が減額され、27年度には、3,345千円になると提示されておりますが、その根拠について伺います。
- ② 地元企業の経営基盤強化支援策、新卒者を雇用する企業に対し補助金等の支援策、地元商店を利用する客の送迎や、宅配サービスに対する支援策及び利子補給補助金の復活等について伺います。

答

- ① 新たな団体としての自立、発展に向けた強化と合理化は、一定の期間を要するものとの判断から、合併から3年間は合併時と同じ金額とし、10年後の平成27年までを目標に、商工会議所に対する運営補助金の額まで減らす措置を講ずる。市は、事業補助を検討していくが、運営補助金に対しては慎重に対応する。
- ② 融資枠の確保と信用保証料の補助、送迎や宅配サービス支援は、地区商店の共同事業なら積極的に支援。利子補給補助金は21年度限りで実施。

新野 洋

[市政刷新会議「創松未来」]



- 市民プールの整備と基金造成について
- 公共事業及び備品購入の価格設定について

問

- ① 昭和40年に建設され、45年間一部改修を繰り返し使用されてきた。多くの市民から新しいプール施設建設の要望が上がっているが、検討組織の立ち上げと今後の取り組みについて伺う。
- ② 予定価格の事後公表、現場代理人の落札後選任、市内業者だけが参加できる入札の上限価格の引き上げ、最低制限価格の引き上げ等。また小規模契約事業者制度でも苦情が多く、制度の変更や運用方針の改善をしていく考えはないか。

答

- ① 8月10日に検討委員12名を委嘱しスポーツ施設の現地調査を行った。市民プールは老朽化が著しく、周囲の環境も建設当時とは大きく変わっていることから、次回委員会から実質的な検討に入る。
- ② 最低制限価格は昨年6月に5%、今年3月に5.5%と二度の引き上げを行った。物品購入においては地域性を考慮し、施設等の地元優先調達を心がけている。公共発注については市と受注者が共に有益となるよう制度運用を研究する。

みなさんからの請願

「趣旨採択となった請願」

- ◎EPA・FTA推進路線の見直しを求める請願

「採択となった請願」

- ◎米価の大暴落に歯止めをかけるための請願
- ◎免税軽油制度の継続を求める請願
- ◎「2011年度の教育予算の拡充と教職員定数の改善を求める意見書提出」方の請願
- ◎「複式学級解消、小規模学校における教職員の配置基準の改善を求める意見書提出」方の請願
- ◎「住宅リフォーム助成制度」の創設を求める請願

可決された意見書

- ☆米価の大暴落に歯止めをかけるための意見書
(内閣総理大臣・農林水産大臣・経済産業大臣)
- ☆免税軽油制度の継続を求める意見書
(内閣総理大臣・農林水産大臣・経済産業大臣)
- ☆2011年度の教育予算の拡充と教職員定数の改善を求める意見書(文部科学大臣・総務大臣・財務大臣)
- ☆複式学級解消、小規模学校における教職員の配置基準の改善を求める意見書(文部科学大臣・総務大臣・財務大臣)
- ☆「住宅リフォーム助成制度」の創設を求める意見書
(福島県知事)
- ☆市町村合併に伴う流域下水道に関する制度改正を求める意見書
(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・国土交通大臣)
- ☆市町村合併に伴う流域下水道に関する制度改正を求める意見書
(福島県知事)

◆ 会議録 ◆

会議録は本会議での一般質問を、そのまま記録したもので、広く市民に会議の内容を明らかにすることを目的に作成されています。

ホームページで公開していますのでお気軽にご覧ください。

アドレス

<http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/gikai/kaigiroku/kaigiroku-top.html>

？ 議会豆知識 ？

【常任委員会とは？】

委員会には、本会議から付託された議案や請願の審査などを行う常任委員会、議会の運営方法等について専門的に協議する市議会運営委員会、特定の問題の調査・審査を行うために必要に応じて設置される特別委員会があります。

常任委員会とは、本会議ですべての議案をきめ細かく審議することは効率的ではないので、いくつかの専門的な委員会に分かれて、議案や請願、陳情などの審査を行っています。これが常任委員会です。

当市議会には、市の執行機関の所管部別に総務、市民産業、建設水道及び文教福祉の4つの常任委員会が設けられ、全議員がいずれか1つの委員会の委員となっています。委員の任期は2年で、各委員会にはそれぞれ委員長と副委員長がいます。

議会の動き (7月～9月)

- | | | |
|----|----|--------------------|
| 7. | 5 | 会派代表者会議 |
| | 7 | 会派代表者会議 |
| | 12 | 平成22年第4回(7月)臨時市議会 |
| | // | 議員協議会 |
| | // | 議会運営委員会 |
| | // | 会派代表者会議 |
| | 13 | 正副議長就任あいさつ廻り(～14日) |
| | 14 | 会派代表者会議 |
| | 20 | 議会運営委員会 |
| | 21 | 平成22年第5回(7月)臨時市議会 |
| | // | 議員協議会 |
| | // | 議員クラブ役員会 |
| 8. | 9 | 市民産業常任委員会協議会 |
| | 19 | 議会運営委員会 |
| | 20 | 平成22年第6回(8月)臨時市議会 |
| | // | 議員協議会 |
| | 25 | 福島県市議会議員研修会 |
| 9. | 3 | 議会運営委員会 |
| | // | 会派代表者会議 |
| | // | 議会だより編集委員会 |
| | 7 | 平成22年第7回(9月)定例議会開会 |
| | // | 議員協議会 |
| | 16 | 議員協議会 |
| | 21 | 決算審査特別委員会(～27日) |
| | 29 | 平成22年第7回(9月)定例議会閉会 |
| | // | 議員協議会 |
| | 30 | 議会だより編集委員会 |

お知らせ

◎次回の定例会は12月上旬開会の予定です。皆様お気軽に傍聴においでください。

◎市議会だより、または、当市議会に対するご意見ご感想をお寄せください。

あて先

〒964-8601 二本松市金色403-1

市議会だより編集委員会

TEL 55-5143(議会事務局)

FAX 22-6047

E-mail

shomu@city.nihonmatsu.lg.jp

編集後記……………

猛暑が過ぎ、一気に秋が訪れ霞ヶ城の菊人形の菊もきれいさをましています。

新しい体制の9月定例議会の決算議会は、初めての特別委員会がつけられ、全議員で審議を行いました。

議会だより編集委員会も第20号より新しく編成され、市民のみなさんにわかり易い紙面づくりをめざし編集を進めてきましたがいかがでしょうか。

これまで市民のみなさんから寄せいただきました要望などについては、今後協議しながら改善を図っていきたく考えています。



私たちが議会だよりの編集を担当します。よろしくお願ひします。

◆ 編集委員会 ◆

委員長	平 敏子
副委員長	菅野 寿雄
	熊田 義春
	安斎 政保
	深谷 勇吉
	堀 籠新一
	安部 匡俊
	斎藤 広二